

考察

1 「麹町小学校に対するアンケート調査」(全保護者対象)について

- 多くの設問で「あてはまる」「だいたいあてはまる」で90%を超えている。
- 設問1「学校は、教育目標や学年・学級の目標等を保護者に分かりやすく伝えている。」、設問18「学校は行事や学校公開、参観、保護者会などを通して、子どもたちの学校生活の様子がよく分かる工夫をしている。」は「あてはまる」「だいたいあてはまる」で95%を超えている。学校公開、保護者会などで学校・学年・学級として考える目標目指している児童像をしっかりとアピールできている。何度も伝えることで理解していただけていることが分かる。
- 設問13・14・15の外国人や地域の講師の導入、道徳教育の推進、奉仕活動への参加等については、学校の教育活動で取り組んではいるものの、ご理解いただけない部分や今年度取り組めなかったことに関しては、ポイントが下がっている。設問1・18の設問から考えて、学校公開に外国人や地域の講師の導入、道徳教育の推進、奉仕活動への参加等を取り入れたり、活動をどのようにしてきたのかを情報発信したりする必要がある。
- 設問4「学校は、子どもの努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。」、設問6「学校は、子どもの安全確保や安全対策に様々な配慮を行っている。」は「あてはまる」「だいたいあてはまる」で90%を超えている。特に設問6にあるように、学校の安全対策にご理解いただいている。
- いくつかの設問で「わからない」の割合が10%を超えている。学校がどのような取組を行っているかを保護者にアピールしていく必要がある。

2 「授業や生活についてのアンケート調査」(5・6年児童)対象について

- 設問1については、「算数」について「よくわかる」「わかる」の割合が94%にのぼり、少人数指導で習熟度別に分かれて丁寧に指導を行っている成果が表れている。
- 設問2の項目5「授業で自分の意見や考えを発言したり、質問したりしていますか。」の「よくする」「ときどきする」の割合が11ポイント増加している。どんなことを発言しても受け入れてもらえる雰囲気や学年・学級でつくっていることが、子どもが積極的に授業に関わり学習しようとする姿勢となって表れている。設問6「友達と教え合ったり、協力したりして学習していますか。」の割合も93%と高く、友達と学習する喜びや楽しさを感じていると考えられる。その一方30%強の児童が「あまりしない」「しない」と回答している。どんな子どもたちでも意見や考えを出していくような授業を展開していく必要がある。
- 設問3の項目1「学校へ行くのは楽しいですか。」について、「とても楽しい」「楽しい」の割合が95%にのぼっている。学校を楽しんでいるこのように多いことは大変喜ばしいことである。しかし、項目2「学校へ行きたくないと思うところがありますか。」については「ときどきある」という児童が32%に達している。学校へ行きたくないと思う児童の割合も多い一方、学校に来れば楽しく過ごせしているという実態があるようだ。
- 設問3の項目3「自分の悩みを誰に相談しますか。」について「先生」と答えた割合が7ポイント増加した。設問2の項目5に関連して学校でどんなことでも相談したり話したりできる雰囲気が築かれてきたと考えられる。今後は、さらに学習でも生活でも自分らしく生活できる場を作り、子どもにとって安心できる場となるようにしていく。
- 設問3の項目4「一日にどれくらい家庭学習(予習・復習を含む)を行っていますか。」について2時間以上行くとする児童が50%を超えている。また、「ほとんどやらない」の割合が3%となっている。家庭学習の在り方について、家庭と学校が連携して取り組んできた成果が表れている。